

ITW Performance Polymers

安全データシート

MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

1: 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

製品番号 IT247

化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 活性化剤。

安全データシートの供給者の詳細

供給者 ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
customerservice.shannon@itwpp.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

2: 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 急性毒性 区分4 - H332 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 皮膚感作性 区分1 - H317

環境有害性 水生環境有害性 (長期間) 区分3 - H412

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H332 吸入すると有害。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

注意書き

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。
 P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

含有物

2 - ヒドロペルオキシ - 2 - フェニルプロパン, ベンゾイルパーオキシド

他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

3：組成及び成分情報

混合物

CUMENE HYDROPEROXIDE	5-10%
CAS番号: 80-15-9	

分類

有機過酸化物 E - H242
 急性毒性 区分4 - H302
 急性毒性 区分4 - H312
 急性毒性 区分3 - H331
 皮膚腐食性 区分1B - H314
 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318
 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335
 特定標的臓器毒性 (STOT)、反復ばく露区分2 - H373
 水生環境有害性 (長期間) 区分2 - H411

ベンゾイルパーオキシド	5-10%
CAS番号: 94-36-0	

分類

有機過酸化物 区分B - H241
 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319
 皮膚感作性 区分1 - H317

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

4：応急措置

応急措置の説明

吸入

被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。

経口摂取

直ちに医師の手当てを受けること。無理に吐かせないこと。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。

皮膚接触

直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。少なくとも15分間洗い続けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

眼接触

コンタクトレンズがあれば取り外し眼を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤 二酸化炭素または粉末消火剤で消火すること。火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 非一般的な火災または爆発の危険有害性は言及されていない。

有害燃焼副産物 知見なし。

消火を行う者の保護

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。蒸気の吸入および皮膚ならびに眼との接触を避けること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 すべての点火源を排除すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。適切に換気すること。不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

他の項目の参照

他の項目の参照 個人保護具については、項目8を参照。項目13の指示通りに漏出物を回収して廃棄すること。

7: 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 熱、火花および裸火から遠ざけること。皮膚および眼との接触を避ける。

職業衛生全般に関する助言 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。皮膚が汚染された場合には直ちに石鹸と水で洗うこと。直ちに汚染された全ての衣類を脱ぐこと。

混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。熱、火花および裸火から遠ざけること。混触危険物質 (項目10を参照) から遠ざけて保管すること。

特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

8: ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

保護具



適切な設備対策

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。空気汚染が許容レベルを越える場合には承認を受けた呼吸マスクを使用すること。労働者が暴露を最小限に抑えるよう訓練されることを確認すること。個人保護装置は設備対策措置で労働者暴露を適切に防止できない場合にのみ使用すること。

眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグル。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護

次の材料で作られた保護手袋を着用すること：ゴムまたはプラスチック。手を化学物質から保護するには、手袋はJIS T8116: 2005に適合していなければならない。手袋の材料の破過時間は手袋の製造業者毎に異なる場合がある。混合物に使用する場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。手袋は次の材料で作られていることが推奨される：ブチルゴム。ポリエチレンとエチレンビニルアルコールとの積層物 (PE / EVOH)。ネオプレン。頻繁に交換することが推奨される。選択される手袋は少なくとも6時間の破過時間を有していなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護

接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

衛生措置

洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：防塵機能付き吸収缶、タイプA2/P2。全ての呼吸用保護具が意図した使用に適していることを確認すること。

9：物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体。
臭い	エステル臭。
pH	pH (希釈液) : 7
融点	決定されていない。
初留点及び沸騰範囲	287.7°C @
引火点	93.3°C
蒸発速度	«59» «184» «109020»
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	決定されていない。
蒸気圧	<0.5 mm Hg @ °C
蒸気密度	決定されていない。
相対密度	NOT DETERMINED @ °C
自己発火温度	決定されていない。
その他の情報	データ無し。
揮発性	«184»

MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

揮発性有機化合物 決定されていない。

10: 安定性及び反応性

反応性	この製品に関連する反応危険有害性は知られていない。
安定性	不安定。
危険有害性反応危険性	知見なし。
避けるべき条件	熱を避けること。次の物質との接触を避けること：強酸化剤。酸およびアルカリとの接触を避けること。
混触危険物質	強アルカリ。強酸化剤。強酸。

11: 有害性情報

有害性情報

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 62,500.0

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 137,500.0

急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性推定値
(ATE) (気体ppmV) 87,500.0

急性吸入毒性推定値
(ATE) (蒸気mg/l) 375.0

急性吸入毒性推定値
(ATE) (粉じん/ミスト
mg/l) 625.0

吸入	呼吸器系を刺激する。蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：咳。呼吸困難。
経口摂取	内部損傷を引き起こすおそれがある。経口摂取すると口、食道および消化管の重篤な刺激を引き起こすおそれがある。胃腸症状、胃のむかつきを含む。
皮膚接触	皮膚を刺激する。長期にわたる接触および頻繁な接触は発赤および刺激を引き起こすおそれがある。皮膚への接触により、感作を起こすことがある。
眼接触	眼を刺激する。反復暴露は慢性眼刺激を引き起こすおそれがある。
急性及び慢性健康有害性	製品はエポキシ樹脂を含む。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。
ばく露経路	吸入 摂取。皮膚および/または眼との接触
標的臓器	眼 皮膚 呼吸器系、肺
成分に関する毒性学的情報	

BRANCHED C10-ALKYL BENZOATES急性毒性 - 吸入

MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

急性吸入毒性推定値 11.0
(ATE) (蒸気mg/l)

CUMENE HYDROPEROXIDE急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値 500.0
(ATE) (mg/kg)

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値 1,100.0
(ATE) (mg/kg)

ベンゾイルパーオキサイド急性毒性 - 経口

急性経口毒性 (LD₅₀ 7,710.0
mg/kg)

生物種 ラット

急性経口毒性推定値 7,710.0
(ATE) (mg/kg)

12: 環境影響情報

生態毒性 製品は水生生物に対して有害かつ水生環境中で長期継続的悪影響を引き起こすおそれのある物質を含む。

毒性 魚に対する毒性は考えられない。

残留性・分解性

残留性・分解性 この製品の分解性についてのデータは無い。

光転移 データ無し。

生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

土壤中の移動性

移動性 製品は水に混和性であり河川水系に広がるおそれがある。

他の有害影響

他の有害影響 データ無し。

13: 廃棄上の注意

廃棄上の注意

一般情報 廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。

廃棄方法 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

14: 輸送上の注意

一般事項 製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。

MA2045 Activator / MA2090 Activator/MA1025 Activator

国連番号

情報は要求されていない。

品名 (国連輸送名)

情報は要求されていない。

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

情報は要求されていない。

輸送ラベル

輸送警告標識は要求されない。

容器等級

情報は要求されていない。

海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質

該当せず。

使用者のための特別予防措置

情報は要求されていない。

MARPOL73/78 附属書II及び 情報は要求されていない。

IBCコードによるばら積み輸送

15: 適用法令

16: その他の情報

改訂日 2021/03/18

改訂版 10

更新日 2018/04/05

危険有害性情報の全文

H241 熱すると火災又は爆発のおそれ。
 H242 熱すると火災のおそれ。
 H302 飲み込むと有害。
 H312 皮膚に接触すると有害。
 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H318 重篤な眼の損傷。
 H319 強い眼刺激。
 H331 吸入すると有毒。
 H332 吸入すると有害。
 H335 呼吸器への刺激のおそれ。
 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をすることはありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。